

FABY

取扱説明書

FABYを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、また必要なときにはいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

FABYの特長

- 座シート前方角度可変による股関節の角度設定(ターンバックル式)
- 新リクライニング機構に基づいた背もたれ角度可変(ターンバックル式)
- バックサポート・座張り調節スリングシートによる張り調節
- バックサポートには体幹部と骨盤部にサポートパッドを装備
- 座張り調節は、座シート前方にウエッジと、外転パッド(オプション)によりモジュラー機能が向上
- バックサポート高さ・座高さ・座シート奥行・アームサポート高さ角度調節式



※製品の仕様は改良のために予告なく変更することがあります。

目次

■ 安全にお使いいただくために	P1・2
■ 各部の名称	P3
■ 製品構成・オプション	P3
■ 使用前点検	P3
■ 各部の取り扱い	P4~6
■ 調節スリングシートについて	P6
■ お手入れ・メンテナンス	P6
■ 仕 様	裏表紙



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

本書記事項載以外の使用はしないでください。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

使い方を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。

- ⊘ 傾斜のある場所では使用しないでください。
- ⊘ 本人を乗せたまま放置しないでください。
- ⊘ はずみをつけたり、つき放したりしての移動(走行)はしないでください。
- ⊘ 座席やバックサポートに立たせないでください。
- ⊘ 本人を座らせたままで、本体を抱えて移動しないでください。持つ位置によって、角度可変機構やアームサポートが急に動いてしまい、本人が転落したり介助者が手をはさむなどのおそれがあり、大変危険です。
- ❗ 処方上、または安全上で必要とされたシートベルト類は必ず使用してください。
(身体状況などにより、ベルトの使用が困難な場合は処方者や取り扱い業者にご相談ください。)
- ⊘ フレームの折れ・曲がり、ベルト類のやぶれやマジックテープの劣化、各部が破損した状態での使用はしないでください。
- ⊘ 子供に操作させないでください。
- ⊘ 火気に近づけないでください。シートに引火したりフレーム本体が熱くなり、火傷や燃えうつるおそれがあります。
- ⊘ 改造や分解はしないでください。



注意

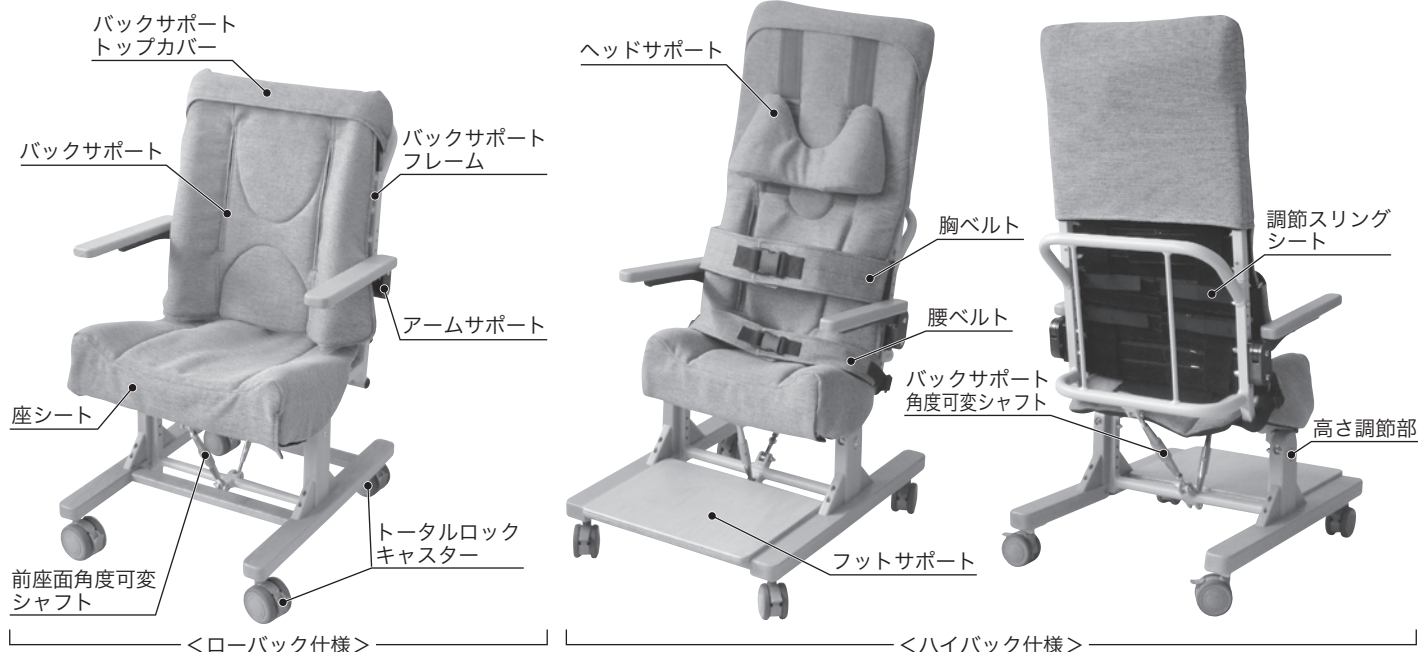
使い方を誤ると、人が傷害を負う可能性、
または物理的障害が発生する可能性が想定される事項です。

- ❗ 医師の処方で製作された場合
 - ⊘ 本人以外での使用はしないでください。
(個人用に処方されたものとなりますので、他人へ安易に貸し出したりしないでください。)
 - ⊘ 処方目的以外での使用はしないでください。
- ❗ 移乗の際は安全な環境で必ずブレーキをかけて、ゆっくり、おちついて乗り降りしてください。
- ❗ 角度調節をおこなうときは各部が連動して動きます。指などをはさまないように注意してください。
- ❗ 乗り降りの際、バックサポートやアームサポートの一方に強くもたれかかると転倒の恐れがあり危険です。
- ❗ アームサポート(肘掛け)の付け根の開閉部分で手や指をはさまないように注意してください。近くに小さなお子様がいる場合は特に注意してください。
- ❗ 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足をはさむなどして、けがをするおそれがありますので十分に注意して使用してください。
- ⊘ 座席から身体を乗り出したような姿勢では使用しないでください。
- ⊘ 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- ⊘ バックサポートなどにぶらさがらないでください。バックサポートなどに子供がぶらさがったりすると、後方に転倒する可能性があり大変危険です。そのような使い方はおこなわないでください。
- ⊘ 子供の遊び道具として使用しないでください。
- ⊘ 保護者・介助者等がアームサポートやバックサポートに寄り掛かったり、踏み台として使用しないでください。

- ⊘ 調節スリングシートやインナーパッドが不適切な状態では使用しないでください。
- ⊘ シートを外した状態で使用しないでください。
- ⊘ 気温の差が激しい場所や異常に高温な場所（車中など）に製品を放置しないでください。フレームが傷むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり高温になったシートに座ることで、体調に悪影響をおよぼすことがあります。
- ❗ 本人の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合には直ちに使用を中断して、医師の診療を受けてください。
- ❗ 本人の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- ❗ バックサポートや前座の角度可変の設定は注意しておこなってください。設定の仕方については取り扱い業者にご相談ください。
- ⊘ 長時間座らせたままにしないでください。時間設定については処方者・医療機関・セラピストにご相談確認の上、ご使用ください。
- ❗ 定期的に処方者・取り扱い業者のチェックを受けてください。
- ⊘ からだに合わない状態で使用しないでください。座り心地の変化や本人の状態に変化を感じたときは、医療機関または取り扱い業者へご相談ください。
- ❗ 各部のガタやねじのゆるみなどは、思わぬ事故につながる可能性があります。定期的に不具合がないか確かめてください。
- ⊘ 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取り扱い、落したり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。フレームが破損することがあります。
- ❗ 水にぬれた場合、そのままにしておくとシートにカビが生えたり、部品に錆びが出ることがあります。乾いた布ですみやかに拭きとってください。
- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外での使用は控えてください。
- ❗ 保管するときは、湿度の高いところ、雨が降りかかるところを避けて、屋根がある風通しのよいところで保管してください。

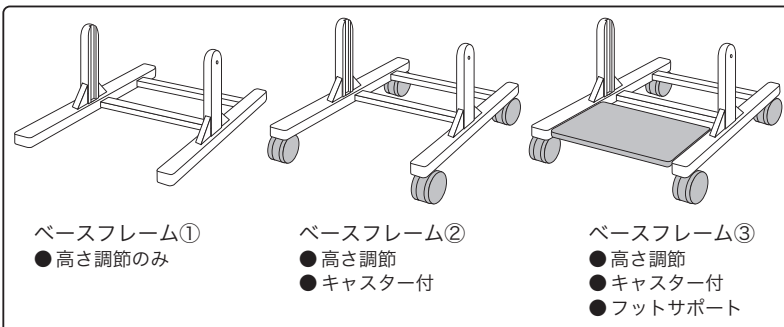
使用を取りやめるときには（不要になったときには）取り扱い業者にご相談ください。

各部の名称



製品構成

		数 量
■基本フレーム		1
■調節スリングシート	バックサポートシート	1
	座シート	1
■サポートインナー パッド	体 幹	左右1対
	骨 盤	左右1対
■アームサポート		左右1対
■ローバックフレーム シートユニット	バックサポートシート	1
	座シート	1
■ハイバックフレーム(ヘッドサポート付)		1
※バックサポートは、ローバック仕様とハイバック仕様の 2種類です。		
■バックサポートトップカバー		1
■胸ベルト		1
■腰ベルト		1



オプション

		数 量
■サポートインナーパッド ハイトイプ	体 幹	左右1対
	骨 盤	左右1対
■トランクサポートベルトⅠ型		1
■トランクサポートベルトⅡ型(肩ベルト付)		1
■胸肩ベルト		1
■外転サポートパッド		左右1対
■座平面形状クッション(低反発)		1

使用前点検

- ◎ネジのゆるみやガタがないか確認してください。
- ◎キャスターのロックが確実にとまることを確認してください。
- ◎各部に破損がないことを確認してください。

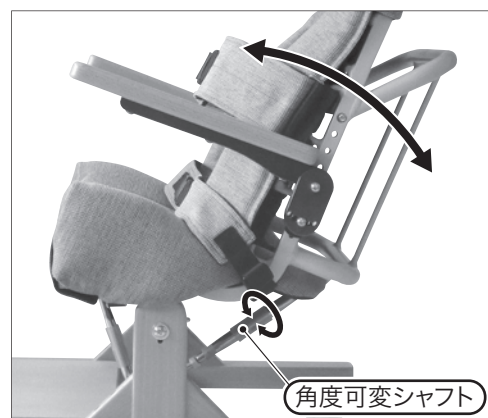
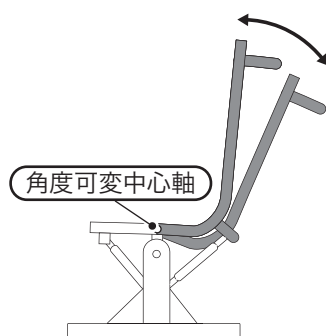
各部の取り扱い

■バックサポート角度可変機構

バックサポートは角度可変シャフトを回すことにより、バックサポートの角度調節がおこなえます。

右に回すとバックサポートが起きて、左に回すとバックサポートは倒れる方向になります。

バックサポートの角度可変の中心軸を座骨の少し前方(新方式リクライニングの軸)に設定しているため、身体とシートのずれやお尻の前すべりがなく、体幹部と骨盤部のアライメントを適切に保ったまま、バックサポートの角度設定がおこなえます。

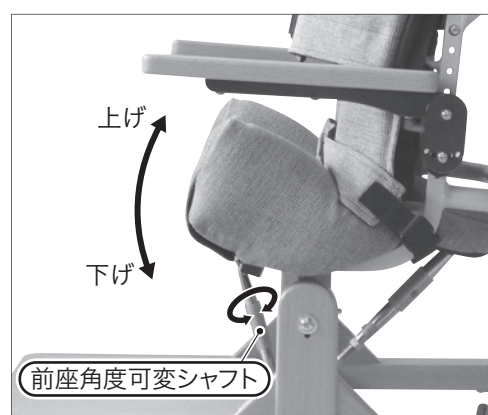
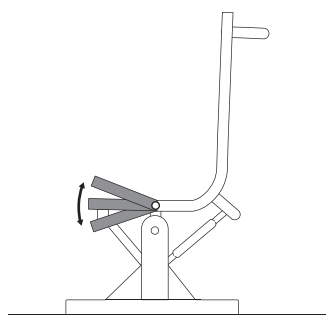


■前座面角度可変

使用される方の身体状況、使用場面に応じて股関節の角度調節がおこなえます。前座下にある角度可変シャフトを回すことにより前座角の調節がおこなえます。

右に回すと前座面が上がり左に回すと前座面が下がる方向になります。

※前座の角度を変えると床からの高さもかわりますので、必要に応じて座面の高さを調節してください。



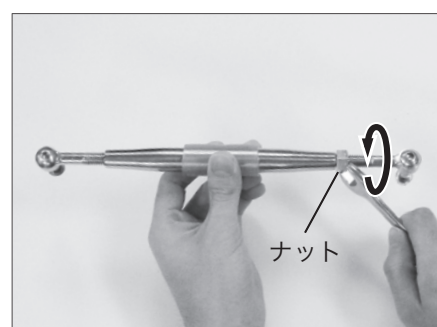
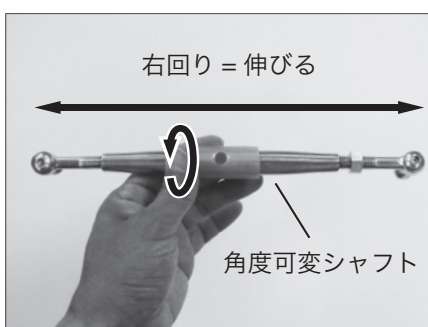
■角度可変シャフトの操作・調整方法

角度可変シャフトを右に回すとシャフトの軸間長が長くなります。

左に回すと軸間長が短くなります。

バックサポート角度可変と前座面角度可変は、この軸間長を変化させることにより、角度を変える機構となっております。

設定した角度を固定したい場合は、シャフトが回転しないようにナットを締めこんで固定してください。



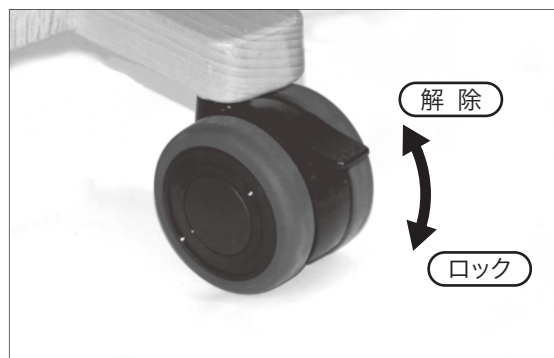
■キャスター

本機のキャスターは、四輪全てトータルロック式です。

キャスターについているプレートを下に下げるとブレーキと首ふりの固定が同時にかかります。プレートを上にあげると解除されます。



- ブレーキをかけたまま本機をひきずると、キャスターが破壊するおそれがあります。特にじゅうたんやクッション製の高い床面など、すべりにくいところでは注意してください。



各部の取り扱い

■座面高さ調節

使用される方の膝下の長さや乗り降りしやすい高さなど、身体状況や使用状況に合わせて座面(全体)の高さが調節できます。ボルト・ナットによる差し換え式です。



- 各部の角度可変機構を操作するときは、各部が連動して動きます。指をはさむおそれがありますので操作取り扱いには十分注意してください。
- 各部の調整をおこなうときは、取り扱い業者にご相談ください。



■座面奥行き調節

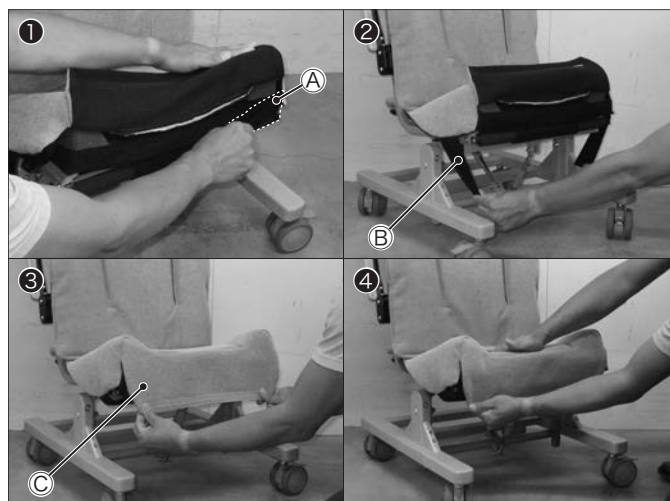
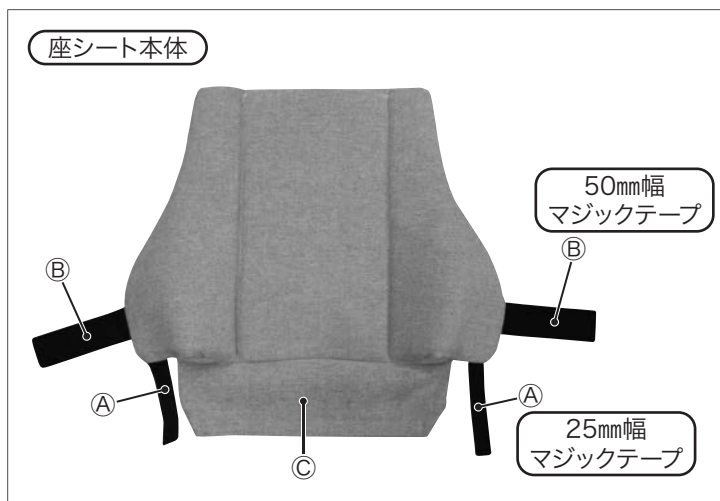
使用者の大腿長に合わせて、座面の奥行き調節がおこなえます。座シートを外すと調節部が表れます。ボルト・ナットによる差し換え式です。

座面の奥行きを伸ばしたときは、調節スリングシートのセンターシートを伸ばして座面前方ウェッジまたは座シートクッションを座パイプ先端にそろえてください。



■座シート取り付け

- ①Aの25mm幅のマジックテープを座面前方ウェッジの正面に貼りつけます(左右)。
 - ②Bの50mm幅のマジックテープを座フレームのパイプを覆うようにして座シート裏側で左右のマジックを貼り合わせます。
 - ③④Cを座シート裏側のBのマジック部分に貼り合わせます。
- ※外す時は逆の手順になります。



■バックサポート高さ調節

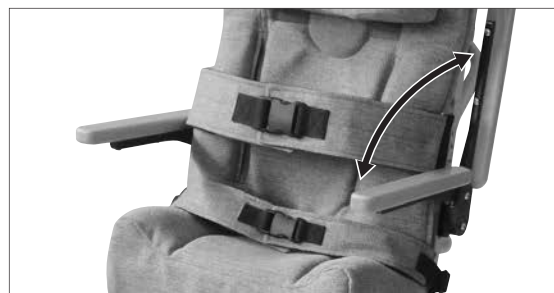
使用される方の座高に合わせて、また成長変化に応じてバックサポートパイプの高さ調節がおこなえます。初期設定より30mm間隔で伸ばすことができます。ボルトナットによる差し換え方式です。



各部の取り扱い

■アームサポート

使用される方の肘の高さに合わせて、アームサポートの高さ調節がおこなえます。(ボルト・ナットによる差し替え式) また、はね上げ開閉式ですので、アームをはね上げるとテーブルに向かう際に身体とテーブルのすき間をなくしたり、横からの乗り降りもできます。



- 開閉のロックは付いていません。手をはさんだりや衣服のかみこみは十分に注意してご使用ください。
- 身体状況や成長変化により、高さ設定を変える際は、医療機関もしくは取り扱い業者にご相談ください。
- アームサポート金具に取り付ける肘当て部については、当社の木製の肘当て以外に、使用状況によって取り扱い業者が個別に製作される場合も考えられます。

調節スリングシートについて



FABYはバックサポートと座面が張り調節式スリングシートで構成されています。

帯状のスリングベルト(マジック式)の張り加減を調節することで、使用される方の身体に個別に対応することができます。矢状面に加え水平面の調節もすることが可能です。

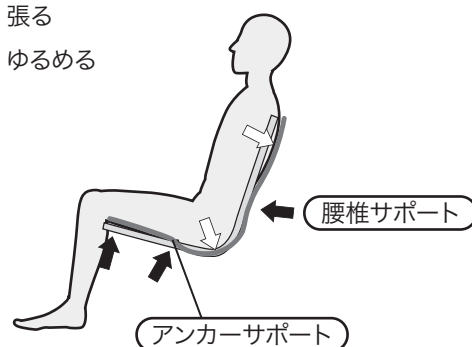


- 長期間使用するうちにスリングシートの張り加減に変化が生じることがあります。このようなときは、シートの張り具合を再度調整してください。調整が困難な場合は、取り扱い業者にご相談ください。

調節例

➡ 張る

⇨ ゆるめる



バックサポートは、

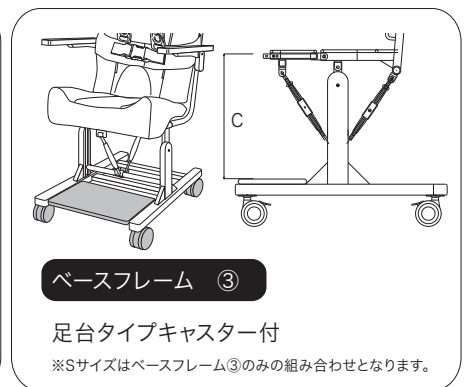
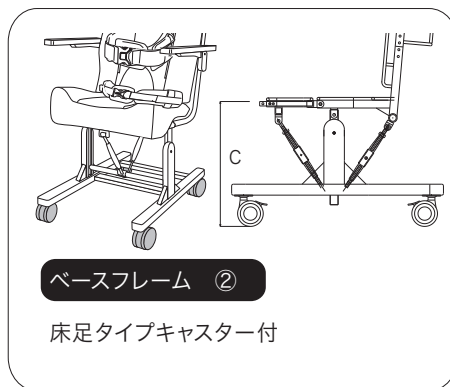
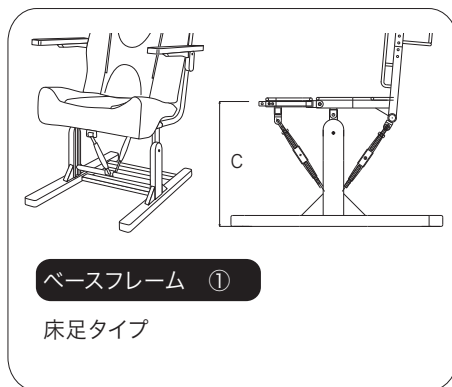
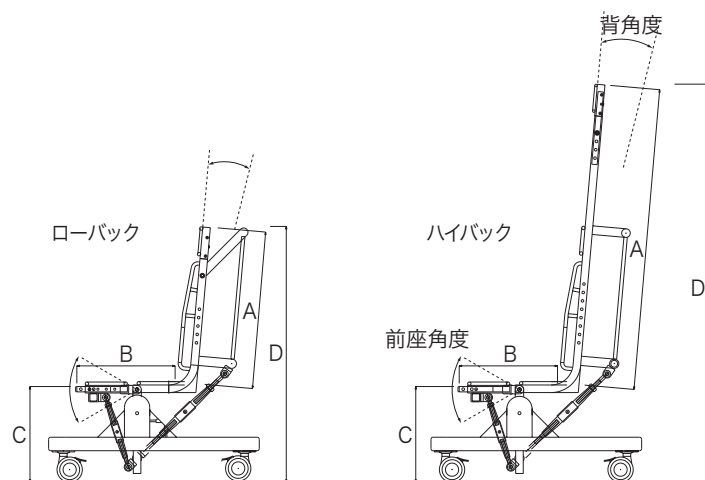
- ①骨盤の前後の傾き(背もたれ下部)
 - ②体幹の前後の傾き(背もたれ中央～上部)
 - ③腰部の支え(背もたれ腰部)を考慮して調節します。また、左右の張りを変えることができるので、側弯による背中の中のろっ骨隆起などの非対称にもある程度対応できます。
- 座面は、坐骨前部から大腿部はしっかりと張って、臀部(坐骨周辺)をゆるめてお尻を包み込むようにして、臀部を安定させ前すべりを起きにくくするのが一般的です。

お手入れ・メンテナンス

- ホースなどで、水をかけて洗わないでください。フレームなど各部についた汚れは固絞りした布地で拭きとってください。
※フレーム塗装部分は、たわしなどで強くこすると傷が付き、塗装がはがれることがあります。
- 可動部分の動きが悪くなった場合には、その部分のゴミやホコリなどを取り除き、潤滑油等を適量さしてください。
- シートカバー内のウレタンクッションは洗濯することは出来ません。シート類を洗濯するときは、以下の点にご注意ください。
- 張り調整式スリングシートの場合はシートカバーと一緒にインナーパッドやウェッジがはがれないように注意してシートカバーのみをはがしてください。バックサポートのインナーパッドや座のウェッジなどの部品類の位置や向きが再現できるように携帯電話のカメラで取ったり、印をつけるなどしてください。
- ヘッドサポートやインナーパッド、モールド座面などのファスナー式カバーの場合は、ファスナーを開けて、中のクッションを取り出してから、シートカバーを洗濯してください。
- シートを洗うときは、マジックテープをすべて相手側に接着した状態で、きれいに折りたたみ、軽く押し洗いか、洗濯ネットに入れるなどして、生地を傷めにくい方法で洗ってください。洗ったあとは、陰干しして乾燥させてください。乾燥機のかけ方の具合では生地の縮みが生じる場合があります。
- 調整や修理などは、まず取り扱い業者にご相談ください。
- 保管するときは、湿度の高い場所や雨が降りかかる場所を避けてください。雨や水のかからない風通しのよい場所で保管してください。雨や水にぬれると、シートにカビが生えたり金属製の各部品、機構にサビが生じるなどして、不具合や故障の原因になります。また特に湿度の高い場所では、わずかな時間でもシートにカビが生えるなどして生地を損なうばかりでなく、健康に害をおよぼすおそれがあります。

仕 様

	単位	Sサイズ		Mサイズ		Lサイズ		2Lサイズ		3Lサイズ	
		ローバック	ハイバック	ローバック	ハイバック	ローバック	ハイバック	ローバック	ハイバック	ローバック	ハイバック
背・座幅	mm	360		385		410		435		460	
背高さ(A)	mm	330~390	660~720	370~430	710~770	410~470	780~840	460~520	820~880	510~570	860~920
座奥行き(B)	mm	185~225		230~290		280~360		350~430		410~490	
座面高さ(C)	mm	160~240		220~300		270~350		360~460		400~500	
全体高さ(D)	mm	615~755	940~1080	605~745	945~1085	695~835	1065~1205	845~1005	1190~1350	940~1100	1275~1435
背角度	度	85~75									
前座角度範囲	度	ターンバックル可動内の目安(上:5、下:8)									
調整スリングシート	材質	ナイロン100%									
シートユニット	材質	ポリエステル100%									
対応身長	mm	900~1100		1100~1300		1200~1400		1450~		1700~	
木製ベースフレーム		③		①,②,③							



※ベースフレーム③を選択した際のCの寸法は足台から座フレームまでの高さになります。

株式会社 きさく工房

〒811-2126 福岡県糟屋郡宇美町障子岳南5-10-11
TEL 092-932-7600 FAX 092-932-1037
E-mail info@kisakukobo.jp https://kisakukobo.jp

2020.12